



対馬丸記念館と、遺族・サポーターを結ぶ、ふれあいの情報誌

対馬丸 通信

発行：(公財)対馬丸記念会
発行人：高良 政勝
編集：対馬丸記念会事務局
この冊子は、厚生労働省の予算で作成しています

Tsushima maru press

令和3年11月20日発行 第43号



対馬丸撃沈から77年、犠牲者の冥福を祈る遺族や関係者＝18日午前10時半ごろ、那覇市若狭の小桜の塔

対馬丸慰霊祭

子どもたちを乗せた対馬丸が米軍の魚雷攻撃を受け海に沈み、今月22日で77年になる。慰霊祭が開かれた18日、那覇市若狭の小桜の塔には対馬丸記念館の職員や関係者らが集まった。例年多くの人が訪れる一般焼香の列はな、開催時間も30分ほどに短縮した。職員らは、参加がかなわなかった遺族らの思いとともに手を合わせ、鎮魂の祈りをささげた。

(1面に関連)

コロナ禍も 記念館存続願う

県外在住の対馬丸記念会協力会員から米や菓子が届き、祭壇に供えた。保育園や県外遺族から寄せられた千羽鶴も掲げられ、記念会常務理事の仲間野千さん(82)は感謝の言葉を述べた。語り部で生存者の照屋信さん(81)は当時4歳。共に乗船し犠牲となった母と姉を悼んだ。1944年8月22日、眠っていた照屋さんは、米潜水艦の魚雷攻撃を受け、母に押し込まれ甲板上へ急いだ。2人で暗い海へ飛び込み、縄が結わかれたしよぶひだるをつかんだ。母は「絶対に手を離さなよ。姉さんを探してくるから」と

命の尊さ、知る機会に

子どもたちを乗せた対馬丸が米軍の魚雷攻撃を受け海に沈み、今月22日で77年になる。慰霊祭が開かれた18日、那覇市若狭の小桜の塔には対馬丸記念館の職員や関係者らが集まった。例年多くの人が訪れる一般焼香の列はな、開催時間も30分ほどに短縮した。職員らは、参加がかなわなかった遺族らの思いとともに手を合わせ、鎮魂の祈りをささげた。

沖縄戦 77年

曇り空からぼつりぼつりと雨が落ちる午前10時、慰霊祭は静かに始まった。参加者はテントの下、塔に向かって黙とう。焼香と続き、目を閉じて手を合わせ、犠牲になった人々に思いをこめて。時折鳥の声が響いていた。

令和三年度 対馬丸慰霊祭 8月18日(水) 於：小桜の塔 コロナ禍のもとで 記念館関係者のみの参列となりましたが無事慰霊祭を執り行いました

今年も8月22日を迎え、対馬丸撃沈から七十七年の年月が経ちました。昨年引き続き、新型コロナウイルスの影響を受け、一時は慰霊祭の開催自体も危ぶまれておりましたが、最低限の人数に絞るという条件のもと、遺族や理事役員等との関係者招待は中止とし、記念館職員を中心とした小規模開催で慰霊祭を執り行いました。また、今年8月22日は旧盆最終日(ウークイ)と重なったため日程を繰り上げ、8月18日に執り行いました。小雨が降るなか、小桜の塔では犠牲者

新たに寄せられた犠牲者の遺影を掲示する職員＝18日午前11時、那覇市若狭の対馬丸記念館



記念館 遺影5人追加

8、20歳、2組の兄妹も

那覇市若狭の対馬丸記念館で18日、学芸員が1階展示室に掲示されている犠牲者の遺影に、2組の兄妹を含む5人の遺影を新たに追加した。遺影は計401人となった。追加されたのは安里良子さん(8)、安次嶺正子さん(8)、安次嶺真喜さん(11)、日向真子さん(12)、日向一雄さん(20)で年齢はいずれも当時。対馬丸記念館によると、日向兄妹の遺影は昨年、遺族関連の資料を整理していた職員が掲げられていたことに気づき、追加された。他の3人は遺族から提供された。

令和3年8月19日 琉球新報

そばを離れ戻らなかった。「対馬丸で助かったのはこの子ね」。戦後、周囲の哀れみの目が胸をえぐり、長年事件について話すことを避けた。それでも、慰霊祭には毎年欠かさず参列し、子どもたちが歴史を知る機会として活動。ふたをして日記を語った。

憶を語り、子どもたちに命の尊さを伝えている。コロナ禍で来館者が減った記念館は、経営が厳しい状況が続く。照屋さんは「記念館があることにより、子どもたちが歴史を知る機会に繋がると」と館存続の意義を語った。

対馬丸記念会の高良政勝理事長(81)は「大きな問題は記念館と小桜の塔の継承」と強調。遺族の高齢化が進む中「国策により多くの人々が犠牲になった。子どもたちに事実を伝えるため、行政が責任を持つて管理してほしい」と語った。

81は「犠牲者のほとんどがあとけない少年少女。戦争は兵隊だけでなく、子どもにも犠牲が及ぶことを知ってほしい」と、遺影を掲示する意義を説明した。対馬丸記念館内に掲示されている遺影は、犠牲者の約4分の1にとどまる。高良館長は遺族、生存者が少なくなっていることにも触れ「周りの関係者に遺影を提供するよう呼び掛けてほしい」と述べた。

悪石島小中学校の児童の皆さん、いつもありがとうございます



いつもおかしをおくってくださってありがとうございます。いれいさいのときは天気がよくて気持ちよく中ひのそじができておままだあついで体にきをつけてください。
12 赤きこう太郎

感染症が落ち着きましたら、ぜひご参拝いらしてください。

悪石島小・中学校 児童生徒会

今年も悪石島の対馬丸慰霊祭が執り行われました。悪石島は対馬丸が撃沈された地点から一番近くにある島であり、島の対馬丸慰霊碑では、毎月悪石島小中学校の子供たちによる清掃活動が行われています。悪石島の慰霊祭も、新型コロナウイルスの影響を受け小規模開催となってしまいましたが、対馬丸に寄り添ってくれる方々の存在は記念会や遺族にとっても嬉しく、そして支えになるものだと感じます。また、当日の様子を写した写真と子供たちのメッセージが記念館に届き、清掃活動を通して、ひとりひとりが真摯に平和と向き合ってくれていることが伝わってきました。

対馬丸記念会の皆様へ ～感謝をこめて～

対馬丸の慰霊碑をそうじすることで、これから先も平和の大切さを忘れぬようにするとともに、対馬丸の事件を広く広めていきます。おかしを送っていただきありがとうございます。

中学二年 相留 星南

毎年、おかしを送っていたら、おかしが送ってくださる。慰霊碑を掃除するとき、対馬丸に乗ったお母さんやお父さん、お兄さんやお姉さん、お友達も、おかしを送ってくださる。おかしを送ってくださる。おかしを送ってくださる。

小学四年 有川 美優

今年もお菓子を送ってくださりありがとうございます。また今年も対馬丸慰霊祭ということもありがとうございます。以上に対馬丸でくたな人のことを思い出しました。特に船の中の人がくたな、などを覚えておりました。おかしを送ってくださる。おかしを送ってくださる。おかしを送ってくださる。

小学六年 久永 大地

先日、おかしを送っていただきありがとうございます。慰霊祭では、もしも自分が乗っていたら...そう考えながらできる限りがんばり走りました。僕も今年生年卒業中学生になります。またしてなからおかしを送ってくださる。

小学六年 藤澤 優真

おかしを送ってくださりありがとうございます。あ、おかしを送ってくださる。おかしを送ってくださる。おかしを送ってくださる。おかしを送ってくださる。おかしを送ってくださる。

小学六年 久永 大地

きれいなつしきまる、きれいなつしきまる、きれいなつしきまる。おかしを送ってくださる。おかしを送ってくださる。おかしを送ってくださる。おかしを送ってくださる。おかしを送ってくださる。

小学六年 藤澤 優真

生きて証し 残したい



照屋さんの母・キヨさん（左から4人目）の遺品から見つかった家族写真。弟の安次嶺眞喜さん（同6人目）と妹の正子さん（同3人目）は対馬丸に乗船し犠牲となった＝1944年、那覇市内の自宅前（提供）



照屋早智江さん（那覇市）
きょうだい2人を失った母の思いを胸に、写真を探した照屋早智江さん＝16日、那覇市泉崎の琉球新報社

対馬丸撃沈きょう77年
太平洋戦争中の1944年8月10日、児童や一般の隣町を乗せた対馬丸が米潜水艦の魚雷攻撃を受けて沈没してから77年。那覇市に住む照屋早智江さん（64）の母キヨさんは、対馬丸に乗船した弟安次嶺眞喜さん（当時11歳）と妹正子さん（当時8歳）を失った。2人のために当たる照屋さんは「彼らが生きていた証しを残したい」と、5年ほど前から写真を探し、今年1月、キヨさんが大切に保管していた家族写真を発見した。18日、那覇市若狭の対馬丸記念館に新たに展示された。

「とてもかしい子たちだった。2人が生きていた。キヨさんは戦後も弟と妹を送り出したことを悔やみ、那覇港に立ち寄り、弟の眞喜さんと妹の正子さんと話した。72歳で亡くなった。おかしを送ってくださる。おかしを送ってくださる。おかしを送ってくださる。おかしを送ってくださる。おかしを送ってくださる。」

母のきょうだい、記念館へ写真
記念館には18日、2人を合わせた5人の遺影が新たに追加された。照屋さんは「遺影を多く、多くの方が対馬丸事件のことを知り、平和について考える機会にしてほしい」と願った。

「おかしを送ってくださる。おかしを送ってくださる。おかしを送ってくださる。おかしを送ってくださる。おかしを送ってくださる。」

- 今年も新たに、遺影を掲示いたしました。
- | | | | |
|-----------------|-----|--------|-------------|
| 安里良子 | 8才 | 甲辰国民学校 | 葉）となりました。 |
| 安次嶺眞喜 | 11才 | 垣花国民学校 | 刻名修正 |
| 安次嶺正子 | 8才 | 垣花国民学校 | 玉城正義 ↓ 大城正義 |
| 日向一雄 | 20才 | 和歌山県 | 玉城光枝 ↓ 大城光枝 |
| 日向貞子 | 12才 | 那覇国民学校 | 玉城正男 ↓ 大城正男 |
| 揭示人数は四百一名（三百五十二 | | 玉城歌代子 | ↓ 大城歌代子 |

8月29日、奄美大島宇検村で対馬丸慰霊祭が行われました。感染症対策のため宇検集落の役員13名による小規模の開催となりました。また、毎年記念館から代表して数名ほど慰霊祭に参加していますが、新型コロナウイルスの影響により、今年は参加を断念しました。今回の慰霊祭には、漂流者の救助や犠牲者の埋葬に参加した大島安徳さんも慰霊祭に出席し、青空が広がる中、船越海岸の慰霊碑前は静かな空気に包まれました

宇検村 対馬丸慰霊之碑 慰霊祭



当時を知る 大島安徳さん



犠牲者が漂着した船越(フノシ)海岸 慰霊之碑はこの脇にある



慰霊祭を執り行って下さった 宇検集落の皆さん

8月29日(日)
於：鹿児島県奄美大島 宇検村

第36回特別展 8月18日〜9月20日 於：企画展示室 「沖縄原風景展〜疎開前の暮らしと民俗〜」

今回は、「対馬丸の子供たちが生活していた時代」というテーマのもと、対馬丸事件の犠牲者が多い那覇市、沖縄市泡瀬、やんばる地域を中心に、当時の情景を描いた絵画や写真、生活用品の展示を行いました。今回の特別展の目玉は、故神山清政氏が描く「やんばる古里風俗圖會」の連作です。故郷・やんばるの懐かしい情景を、浮世絵に影響を受けた豊かな作風で描いており、どこか温かさを感じる展示になりました。戦前の写真では、懐かしい那覇の街並みや市内の尋常小学校の写真等が展示され、見学中、当時のことを思い

また、ご来館の皆様はもちろん、資料提供等でご協力頂きました、関係各位の皆様にご場をお借りして心から感謝申し上げます。



対馬丸のことをやさしく伝える 学習教材用の紙芝居が出来ました

子供たちにもっとわかりやすく対馬丸のことを知ってもらうため、対馬丸事件にまつわる紙芝居が完成しました。紙芝居は小学校低学年向けと高学年向けの異なる2つの内容で制作されています。小学校低学年向けは、記念館のシンボルとして展示されている、みつちゃんといつちゃんのランドセルをモチーフに話が展開され、対馬丸事件の内容について子供たちにもわかりやすく描か

れています。高学年向けは、奄美大島の船越（ふのし）海岸にある対馬丸慰霊碑について描かれており、漂流した生存者の救助や犠牲者の遺体を埋葬した話など、当時の宇検村の人々の視点から、対馬丸事件について触れています。紙芝居は記念館の貸し出し品として、学校や教育現場の他に、個人での貸し出しも行っています。詳しくは、記念館にお問い合わせください。

真和志高校で紙芝居の 出前講話を行いました

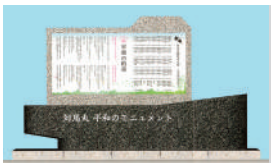
9月末、真和志高校にて学芸員が紙芝居出前講話を行いました。今回は1〜2年生の図書委員、約18名の学生を対象に、「対馬丸へのいのり」の紙芝居の読み聞かせを交え、事件の概要や宇検村について、記念館の取り組み等を説明しました。時間の都合上、放課後の短い時間での講話となりましたが、どの生徒も真剣な眼差しで話を聞いてくれました。



作/池宮 康子 和田 瑞希/絵



作/池宮 康子 磯崎 主住/絵



いが行われて
いる状況です。
モニュメント
は早ければ来
年の3月頃に
完成・除幕式
が行われます。

来年初、那覇市の垣花小学校に、対馬丸の「平和のモニュメント」が設置される予定です。



ハワイのポーフィン号記念館に、対馬丸に関する説明パネルが新しく設置されました。

ハワイ在住の退役海軍中佐、アン・ライトさんが、太平洋艦隊記念会の理事会に対し、愛媛丸の慰霊碑には米原潜の浮上時の事故として記録されているのに、ポーフィン記念館には対馬丸事件に対する展示が無く、太平洋戦争の悲劇と史実を正しく伝えるため対馬丸事件の展示が必要ではないのかと働きかけ、当館との間を取り持っていただいた、ダグラス・スミス（VFP/ROCK）両氏のご尽力によって実現しました。

パネルには、短い文章ながら対馬丸事件の概要が太平洋戦争の悲劇とし記述されています。

記念会では展示に至った経緯を、多くの人々に発信できないか話し合われています。また、現在パネル設置に関係する質問をポーフィン記念館へ送り、現地から回答を待っている状態です。



新任学芸員紹介



外間功一 (25)

はじめまして、昨年7月から対馬丸記念館で学芸員として勤めております、外間功一と申します。よろしくお願ひします。

学芸員とは全く違う仕事をしていましたので、これからしっかりと勉強し対馬丸の子供たちからのバトンを後世に伝えていくために努めていきます。



堀切香鈴 (23)

初めまして！今年の5月から記念館に勤めています、堀切と申します。まだまだ至らないところもありますが、様々な学びや刺激を吸収して成長できるように頑張ります。

また、来館される方々や遺族の方々、対馬丸の子どもたちに寄り添いながら、日々のお仕事を大切にしていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

ご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願ひいたします。

来館・視察

□9月28日

下地ミキ才衆議院議員、鈴木宗男参議院議員の両氏が記念館を視察。

イベント

□8月18日～9月20日

第36回特別展

「沖縄原風景～疎開前の暮らしと民俗～」

那覇市歴史博物館、池宮商会、沖縄市泡瀬期成会、諸見民芸館(順不同)以上の関係各所から資料を借用させていただき特別展を行いました。

(3ページに記事、詳細掲載)

トピックス

□5月13日

令和3年度那覇市内小中学校平和担当者研修会

今年も那覇市内の小中学校の平和担当者教員にむけた研究会が行われました。密をさけるため、館内施設や周辺慰霊碑の見学、記念館学芸員と外部講師による講話を、グループと時間帯を2つに分けて行いました。例年は7月に那覇市内小中学校の初任者研修会も行っていますが、新型コロナウイルスの影響を受け今年は中止となりました。

□6月12日

令和3年度第1回通常理事会

記念館にて今年度の第1回通常理事会が行われました。事業報告とそれに伴う決算報告が行われました。併せて任期満了による就任

期間が終了したことを報告、引き続き理事の重任同意を確認したので、令和3年度評議員会の承認審議といたしました。

また、監事一名の退任申し入れがあり、新監事の推薦も行われました。

□6月26日

令和3年度評議員会

今年度の第1回評議員委員会が行われ、はじめに評議員の新人人事について選任し、次に理事会において承認された事業報告・決算報告が事務局から報告され了承されました。最後に、理事会から推薦された理事重任についてと、監事一名の新たな人事について審議し了承されました。新たな人事は左記の通りです。

評議員

(退任) 野里洋、津嘉山朝詳

(新任) 本仲範男、比嘉悦子

監事

(退任) 謝花奈津子

(新任) 與古田桐子

(全て敬称略)

□6月26日

令和3年度第2回臨時理事会

評議員会にて、理事重任が了承されたことを受け、三役の選任が行われ、現三役が引き続き会務を担うこととなりました。

□8月18日

令和3年度対馬丸慰霊祭・新規遺影追加揭示

感染症予防を兼ね、今年の慰霊祭は役員やご遺族関係者の参加

は見送らせていただき、記念館職員を中心とした小規模で執行了いました。今年は22日が旧盆最終日と重なってしまつたため、日程を繰り上げた18日に開催いたしました。また、慰霊祭終了後、記念館遺影コーナーでは今年度の新規遺影(5名)を掲示いたしました。(1・2ページに記事、詳細掲載)

対馬丸記念館

公式Twitter開設

対馬丸記念館や記念会の取り組みをもっと多くの方々知ってほしいとの願いから、対馬丸記念館の公式ツイッターを開設しました。ホームページやブログといった今までのツールに引き続き、SNSの活用を通して、より多くの人々に対馬丸や記念館について発信していければと思います。



対馬丸記念館
Twitterアカウント:
@tsushima_08_22
上記QRコードからも
フォローできます

ご寄附

(敬称略) 斎藤幸江(3月16日)、津嘉山信行(3月19日)、大森節子(3月19日)、株式会社山田養蜂場(3月31日)、読谷村職員労働組合結成六十周年記念事業実行委員会(4月14日)、新里朝子・眞美子(4月21日)、渡名喜よし子(5月1日)、(株)国際ビル産業(6月12日)、光文堂コミュニティケーションズ株式会社(6月16日)、山加恵津子(6月22日)、琉球新報を読まれた方(無記名)(6月22日)、株式会社アールジェイエステート(6月23日)、株式会社鋼新・大林哲也様(6月23日)、加藤麻美(6月25日)、新垣美恵子(7月17日)、中田昌宏(8月4日)、瀬嵩マサ子(8月11日)、堀内雪子(8月12日)、たから歯科(8月18日)、外間邦子(8月18日)、真栄城修(8月24日)、本田秀純(8月24日)以上の方々より大口寄付を頂戴いたしました。

□令和3年3月1日～9月30日(順不同、敬称略)

山本彩香、比嘉弘子、鳥袋愛子、謝花奈津子、山城亜矢乃、伊佐実千代、大嶺千枝子、石谷倫子、藤田美絵子、中里治通、久手堅幸子、上原守、仲里正博、上江洲仁亀、護得久朝保、長堂忍、崎山哲弘、山城正子、とくだ歯科クリニク、真喜志早江子、斎藤義光、塩谷清一、米須敦子、近藤靖子、東哲世、宮城

正廣、玉城英人、仲宗根泰昭、宮里由希、道広良子、高江洲旭、菓正継、高松誠、坂本祐子、宮里幸江、古波蔵信泉、中島光雄、久保庭正子、森山康和、樋口紀子、鈴木寿美、塩澤弘美、當山徹、長嶺恭正、西脇美保、名嘉真武伸、渡慶次彰、中村祐一、屋良朝博、木下淳、前城康一、普天間悟、高嶺明彦、総義歯研究会、深野匡吾、下地盛叶、今出喜代子、金城和江、新垣勝子、赤嶺廣明、又吉康男、白梅同窓会会長・中山きく、沖繩歯科研修同好会、宮城智恵子、護国寺・名幸定海、早乙女良一、加茂田サチ・美恵、一般財団法人兵庫県遺族会、高橋めぐみ、比嘉齒科医院、常見琢夫、眞栄城嘉史、溝上加代子、渡辺香織、宮城泰子、福原秀子、有限会社あすらまん・比嘉正詔、神谷嘉代子、上原修、青山孝利、阿部節男、寺村高貴、土肥久子、羽太勝子、神元龍一、桑江良憲、中村美恵子、吉盛雅美、佐々弘美、石塚しげ子、比嘉香織、高良博、佐久川正代、寺岡聖豪、玉城斉、奥村啓子、新城和子、村越千代子、野原峯子、瑞慶山良和、武田正勝、比嘉千春、池田典義、幸地正夫、眞栄城かおり、眞栄城よしの、亀島みどり、泉川則子、島袋貴、泉水朝悦、外間亮、外間典子、牧野裕一、泉川美佐江、慶田盛紫、宇久朝彦、宮城芳彦、森田浩行、光文堂コミュニケーションズ相談役・比嘉良雄、呉屋良彦、謝花寛宮・奈津子、津波剛史、塩川博司、眞栄里泰山、野里洋、高良美智子、西原伊都子、渡嘉敷綾子、金城清文、宮城光英、幸地秀子、宮城良枝、福田健、山口郷子、新崎宏美、大治正雄、賀数稔、吉永小百合、石坂雷太、石坂アリス、ト、比嘉清、クランドル・ジャン・デイビット、甲斐真由美、城間直子、栗木紳雄、伊波行得、麻生康隆、奥間毅、上原齒科クリニック、前田丈志、石倉寿一、木暮一啓、谷口輝・正子、金城ちあき、山城治、多和田真人、平田久雄、西平守良、石原興平、石原興嗣、宮城淳、平良次子、田名毅、田名彩子、黒木信子、畑山わか、本間美知子、松村正信、石嶺小学校（講師派遣謝礼）、比嘉良子、酒居安佐子、玉城弘子、照屋早智江、照屋有植希、中川智代、仲本和男、大城光枝・仲作・素真子、池田美子、新垣梨沙、狩俣美智子、一般社団法人泊先覚顕彰会、池田幸枝、なかよしわんぱく保育園・嶋岡美穂、我喜屋芳子、嘉数昇明、我喜屋宗正・敏子、土井由乃、粟国寛、照屋寛足立理一郎、赤塚謙一、渡口美子、安藤くに代、山本隆英、角田康弘、外間則子、知念花代子、日向孝子、伊波かをる、宮城瞳、大法寺、田澤秀子、堀川竜二、瀬下雅弘、最上直人、諸見里美、諸見康秀、久高政治、石倉康治、金城裕子、川崎久子、勝村里美、宮里美恵、河田真智子、新垣幸子、茹部弘達、宮平誠司、與古田桐子、大城操、金城盛一郎、金城園子、高里盛友・シズ子、竹村恭一、武村豊、猿木弘一、玉城京子、玉城博江、株式会社オーディフホルディングス・普天間初子、阿部圭助、翁長安子、翁長林行、喜納桂子、酒光幸子、佐久本真智子、柴原智幸、平良輝子、高良ツル子、高良久子、田中順一、東盛キヨ子、立津ツル子、島袋さとみ、柴田一郎、幸地長昌、山里将進、高良光重、又吉治子、國吉眞淳、仲宗根正、古座谷隆、西村弘子、下地農、野原朋美、浜崎盛久、玉那覇有健、阿嘉宗徹、久場健二、知念直満、呉屋吉則、石坂美砂、新垣叡、金城美恵、山口至彦、山中友子、羽角淳一、湧川祐一、湧川秀子、饒波正太郎、長田正明、野里千恵子、株式会社国際パーキング・高良英一、伊是名加江、内藤啓子、長沼克宗、高良美代子、島袋侑哲・則子、島袋哲英、島袋誉之、島谷敦子、太田恭子、屋比久嘉光、嶋田要一、嶋田玲子、榎川啓子、山添雄美、長崎信子、岸本麗子、若狭一丁目自治会、久保光子、宮城宜子、平良順一、沖繩協会・上原良幸、高里千穂子、渡名喜元嗣、與古田清正、宜保榮治郎、新城美由紀、中田美寿代、嘉数八重子、伊波純、上原一路、嘉数聡、玉城雄一、喜屋武盛明、井坂猛、吉山盛明、儀間美優、中山きく、渡口眞常、赤嶺初子、名城郁子、佐久本りの、平良直美、仲山幸代、小川いづみ、山下幹雄、吉元宏樹、照屋恒、(二社) TWPO・伊是名加江、又吉静枝、下地洋子、當山健次、安次嶺喜伸、安次嶺紀美子、永田之宏、仲村清、武富明夫、武富園子、田場美智子、津波古敏子、豊岡君江、安次富百合子、大槻裕治、亀田明子、松本安子、名城悦子、上原はつ子、松隈桂子、比屋定弘子、宮城世志子、本村ツル、駒村利美子、豊岡良子、平良三重子、徳元めぐり子、藤原房子、富村正、富村洋子、比嘉正輝、又吉嘉伸・慶子、都築さつき、合原理子、仲松学・かおり、嶋田智恵美、不破百代、比嘉恵子、大里千代子、宮城讓二、渡久山久子、橋口泰宜、箱守めぐみ、福永忍、我喜屋進、久場富子、島尻英子・光雄、上島茂樹、林貞子、古堅瑛子、照屋保子、村山弘行、新里末子、當間嗣朝、小波津隆、山城美津子、上原博明、具志堅雪子、大湾朝明、宮城壮成、比嘉いずみ・涼葉、中島尚子、新里初子、松本勝幸、那覇西クリニック・照喜名重治、仲間初子、吉山小百合、具志清淳・ムツミ・一樹、中原一美、前田睦己、岡野洋三、浦崎唯彦、新里肇、深井哲朗、仲宗根朋美、澤岬明、比嘉良喬、翁長晴永、伊佐キク、宜野座久美子、浦添武子、高橋ミエ子、有有限会社なかや食材、渡口彦信、西原幸子、早川



尚江、九月一日のご来館者様(匿名)、山川敏江、宮城幸晴・正子、外間寛、伊佐千代子、坂上彰、宇根一磨、西原ミドリ、西原良信、西口忠、山入端真弓、宮良敏子、名城幸子、嶺井憲子、宮城玲子、真喜志保、新垣匡子、外島礼子、比嘉幸子、眞栄城嘉愛、新垣良枝、比嘉小枝子、石橋薫、石橋百合子、ぶどうの木保育園、池宮城紀夫、石神幸郎、眞栄城徳秀、島袋常宏、玉城節子、沼口照千代、高良邦弘、津和崎宏晃、武田克彦、内原貞子、仲田行克、上門根美、中村直子、比嘉早苗、以上の方々よりご寄付を頂戴いたしました。心よりお礼を申し上げます。

コロナ禍にも拘わらず、皆様の熱い支援に職員一同身の引き締まる思いでいっぱいです。